



2025年12月期 第1四半期 決算説明会資料 荏原 (6361)

2025年5月15日

Looking ahead,
going beyond expectations

Ahead > *Beyond*

株式会社 荏原製作所

当決算におけるポイント	P3	4. 今後の経営方針について	P22
1. FY25 1Q連結決算サマリ		5. 補足資料	
・連結業績	P5	・連結業績予想	P33
・セグメント別	P6	・受注高	P34
・営業利益増減分析	P7	・売上収益	P35
・地域別売上収益	P8	・営業利益	P36
2. FY25 1Qセグメント別業績		・受注残高	P37
・建築・産業	P10	・地域別売上収益	P38
・エネルギー	P11	・サービス&サポート(S&S)売上収益	P39
・インフラ	P12	・貸借対照表	P40
・環境	P13	・キャッシュ・フロー	P41
・精密・電子	P14	・ESG Topics	P42
3. FY25 業績予想			
・セグメント別事業環境認識	P17		
・連結業績	P18		
・セグメント別	P19		
・営業利益増減分析	P20		
・米国の関税政策の影響について	P21		

■ 略語の説明

- ・ FY：会計年度（例「FY25」は2025年12月期会計年度）
- ・ 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している

- 本資料で示す財務数値はIFRSベースで記載している

FY25 1Q 業績

	実績	前年同期比
受注高	1,998 億円	+82 億円 +4.3% →
売上収益	2,126 億円	+188 億円 +9.7% ↗
営業利益	226 億円	+33 億円 +17.1% ↗
営業利益率	10.6%	+0.6pts
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	157 億円	+10 億円 +7.4% ↗

↗は+5%以上、↘は-5%以上の変化、→は変化が±5%未満

FY25 通期業績予想

	今回計画	前期比	前回計画比*
受注高	9,400 億円	+794 億円 +9.2% ↗	- →
売上収益	9,000 億円	+333 億円 +3.8% →	- →
営業利益	1,015 億円	+35 億円 +3.6% →	- →
営業利益率	11.3%	-	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	724 億円	+9 億円 +1.4% →	- →

*2025年2月14日公表の計画値

ポイント

FY25 1Q 業績

(増減はFY24 1Q比)

- 受注高、売上収益、営業利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益はいずれも1Qとして過去最高を更新
- 受注高は、エネルギーにおいて減少するも、精密・電子で大幅に増加し、全社では増加
- エネルギー、インフラ、環境、精密・電子が寄与して増収。エネルギーの減益をインフラと精密・電子がカバーして増益

FY25 業績予想

- 通期業績予想は据え置き。現時点では米国の関税政策による業績への影響は限定的
- 上期業績予想については、セグメント内訳を微修正

1. FY25 1Q 連結決算サマリ

2. FY25 1Q セグメント別業績

3. FY25 業績予想

4. 今後の経営方針について

5. 補足資料

連結業績

(単位：億円)

	FY24 1Q 実績 a	FY25 1Q 実績 b	増減 b-a	増減率 (b-a)/a
受注高	1,916	1,998	+82	+4.3%
売上収益	1,938	2,126	+188	+9.7%
営業利益	192	226	+33	+17.1%
営業利益率	10.0%	10.6%	+0.6pts	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	146	157	+10	+7.4%
EPS (円) *1	31.84	34.18	+2.34	+7.4%
為替レート*2				
対米ドル (円)	148.25	152.60	+4.35	
対ユーロ (円)	160.98	160.47	-0.51	
対人民元 (円)	20.64	20.98	+0.34	

*1 2024年7月1日に1株を5株とする株式分割を実施。記載は株式分割後ベースに調整した数値

*2 為替レートは各四半期における期中平均レートを単純平均で表記

1. FY25 1Q 連結決算サマリ セグメント別



(単位：億円)

		FY24 1Q 実績	FY25 1Q 実績	増減	増減率
		a	b	b-a	(b-a)/a
連結合計	受注高	1,916	1,998	+82	+4.3%
	売上収益	1,938	2,126	+188	+9.7%
	営業利益	192	226	+33	+17.1%
	営業利益率	10.0%	10.6%	+0.6pts	
建築・産業	受注高	581	597	+16	+2.8%
	売上収益	565	563	-2	-0.4%
	営業利益	43	43	-0	-1.4%
	営業利益率	7.8%	7.7%	-0.1pts	
エネルギー	受注高	545	423	-121	-22.4%
	売上収益	435	486	+50	+11.5%
	営業利益	36	19	-16	-45.8%
	営業利益率	8.4%	4.1%	-4.3pts	
インフラ	受注高	189	200	+11	+6.0%
	売上収益	172	215	+43	+25.1%
	営業利益	35	55	+20	+58.0%
	営業利益率	20.6%	26.0%	+5.4pts	
環境	受注高	52	33	-18	-35.9%
	売上収益	208	234	+26	+12.6%
	営業利益	30	30	-0	-1.3%
	営業利益率	14.8%	12.9%	-1.9pts	
精密・電子	受注高	543	739	+195	+36.0%
	売上収益	553	624	+70	+12.8%
	営業利益	54	82	+28	+51.5%
	営業利益率	9.9%	13.2%	+3.3pts	
その他、調整	受注高	2	2	+0	
	売上収益	2	3	+0	
	営業利益	-8	-6	+2	
	営業利益率	-285.9%	-199.4%	+86.5pts	

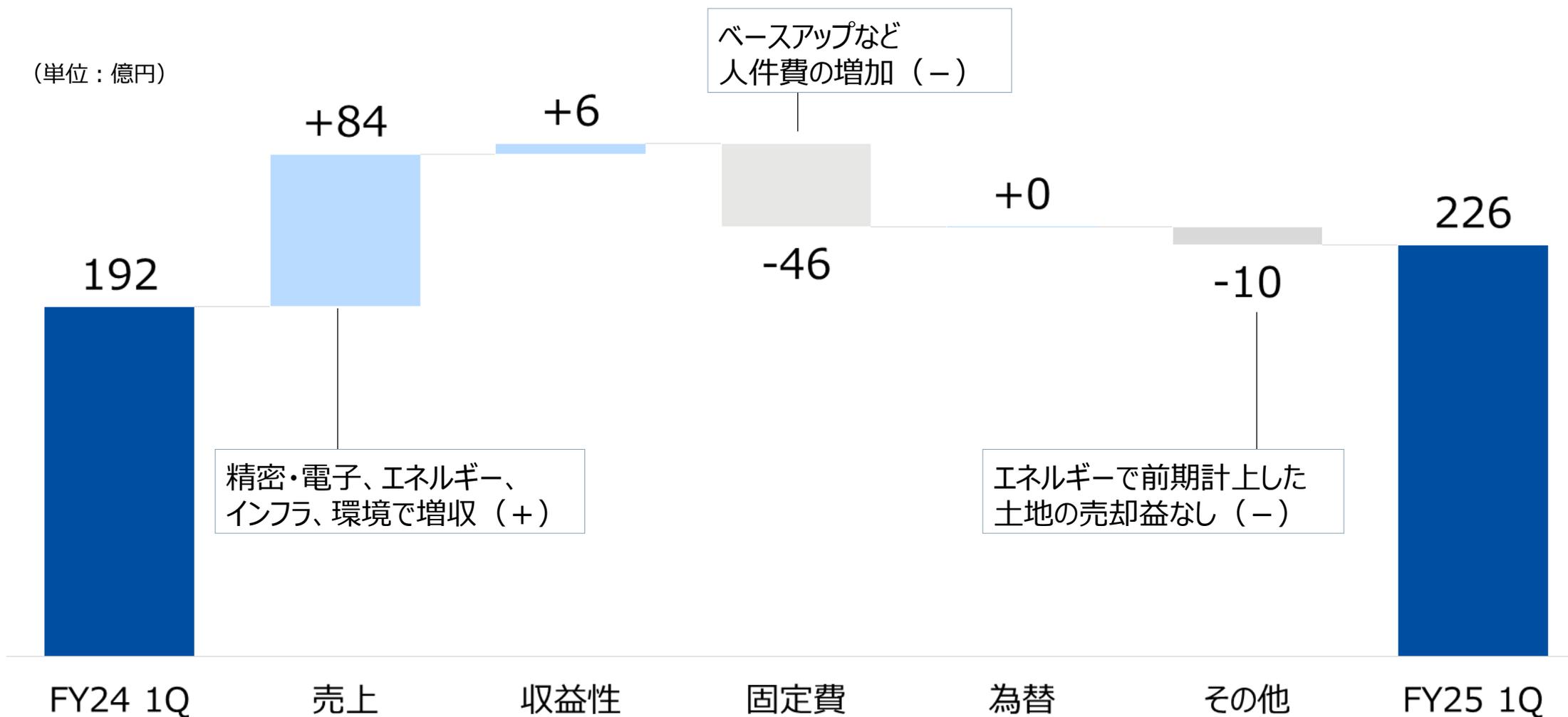
1. FY25 1Q 連結決算サマリ

営業利益増減分析

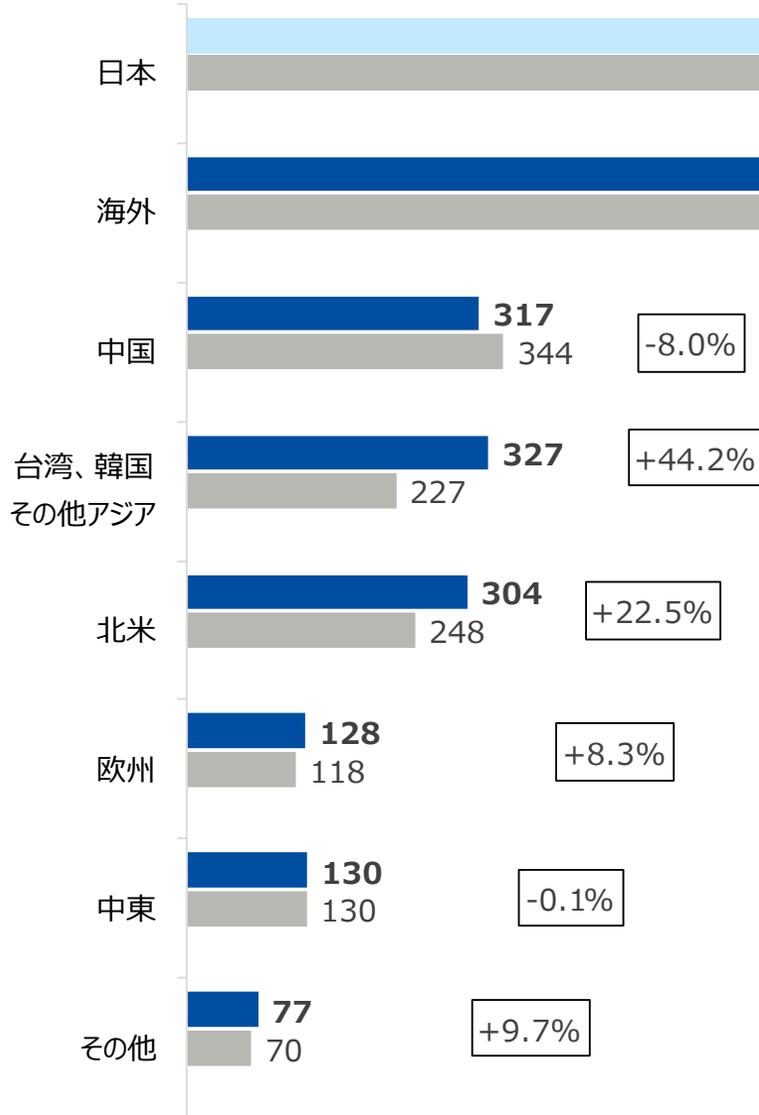


増収効果が固定費増を上回り増益

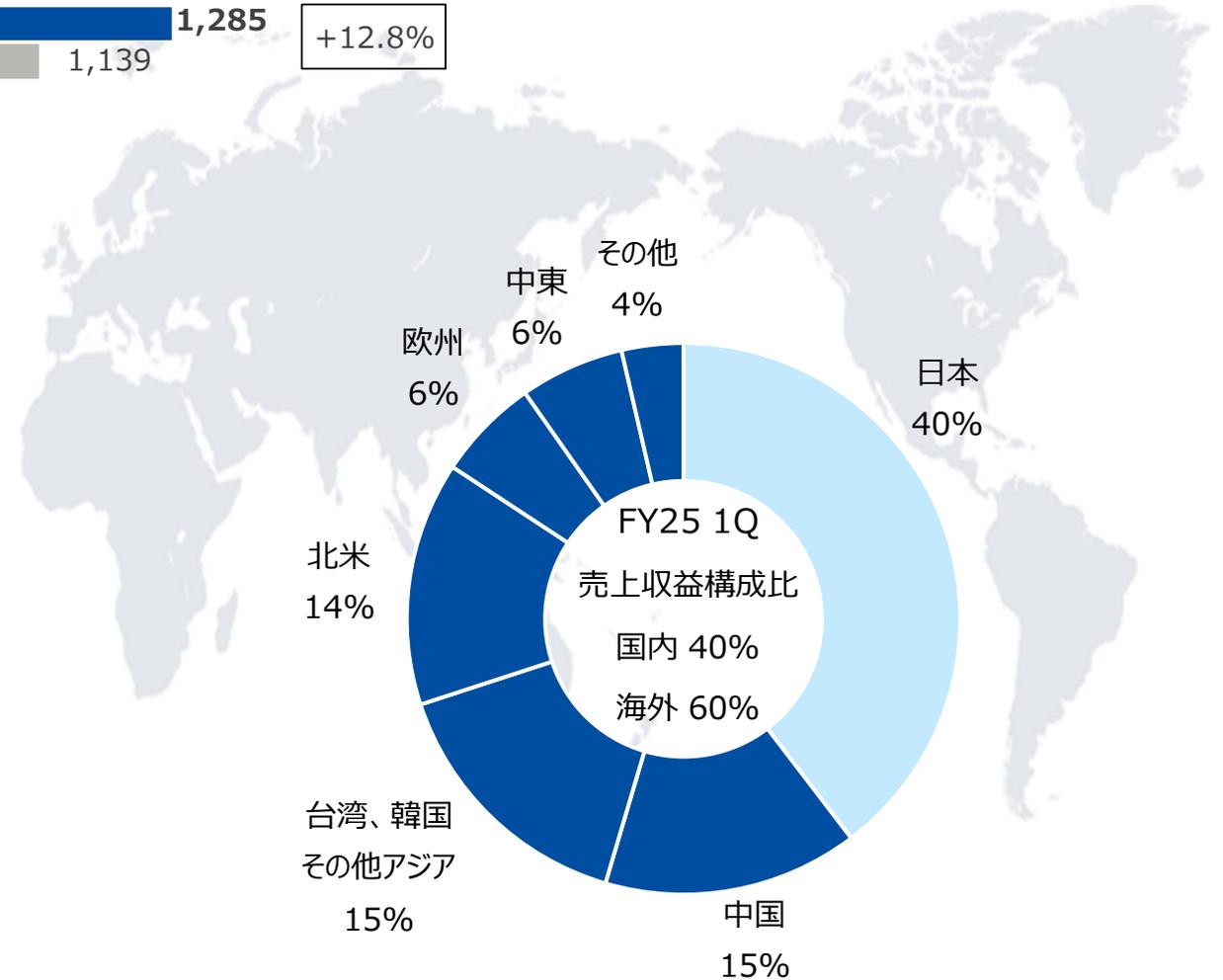
(単位：億円)



地域別売上収益



(単位：億円)
上段: FY25 1Q
 下段: FY24 1Q
 □ 前期比

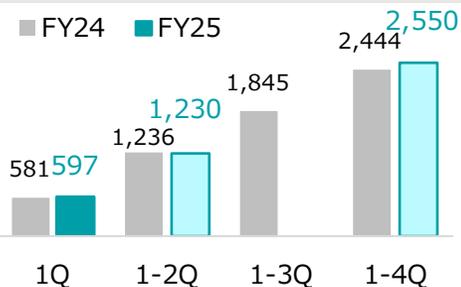


※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

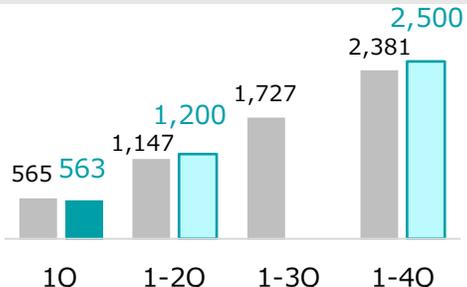
1. FY25 1Q 連結決算サマリ
- 2. FY25 1Q セグメント別業績**
3. FY25 業績予想
4. 今後の経営方針について
5. 補足資料

業績推移 (単位: 億円)

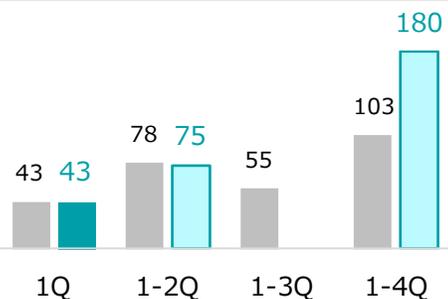
受注高



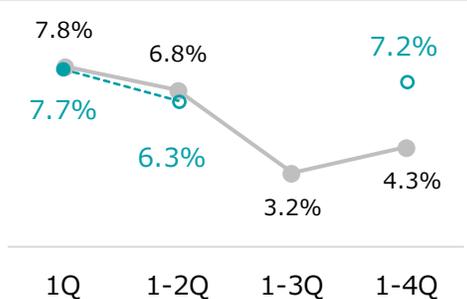
売上収益



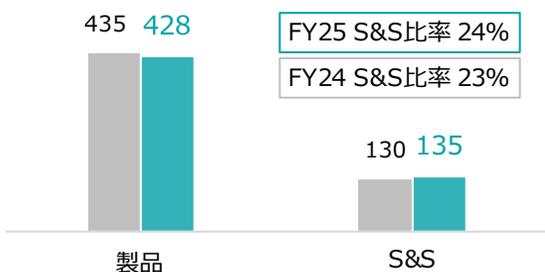
営業利益



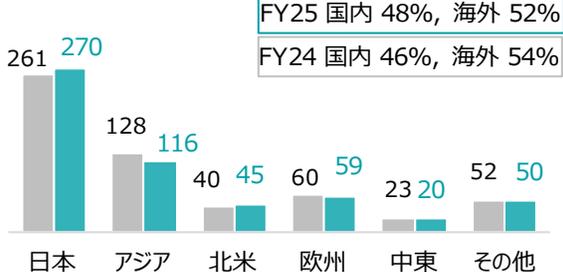
営業利益率



製品・S&S別売上収益 (単位: 億円)



地域別売上収益 (単位: 億円)



ポイント (FY24 1Q比)

市場環境

- GDP成長率は中東、日本、南米は回復傾向だが、その他の地域は弱含み
- 中国の建築設備市場は不動産投資抑制により引き続き低調

受注高

- 国内ではS&Sが好調
- 北米でデータセンター向けが堅調に推移
- 中国では建築設備市場向け製品の需要低迷により減少

売上収益

- 国内はS&Sが好調で増収
- 海外は北米や中南米で好調も、中国の低迷により前年並み

営業利益

- 北米での増収により増益 (+)
- 人件費が増加 (-)

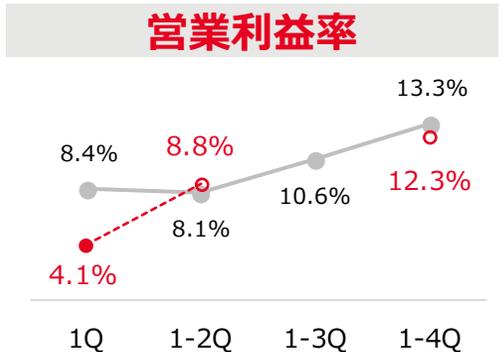
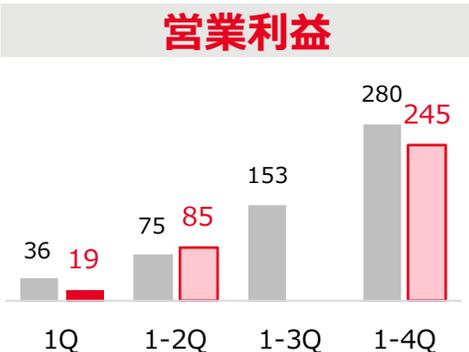
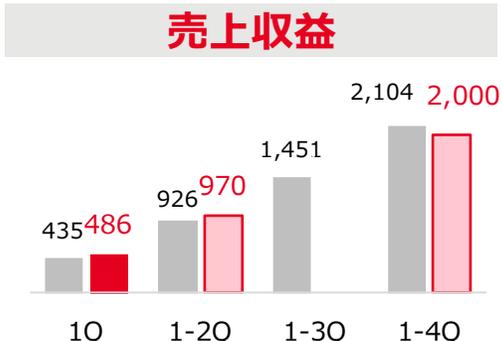
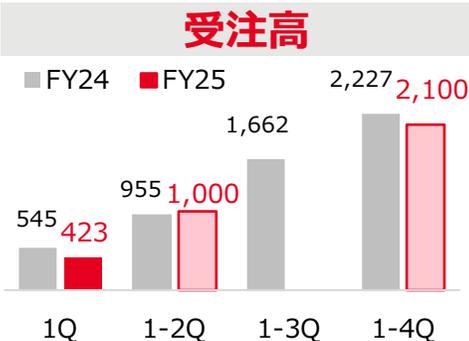
営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



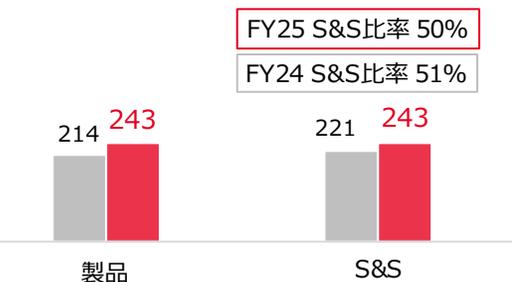
2. FY25 1Q セグメント別業績 エネルギー



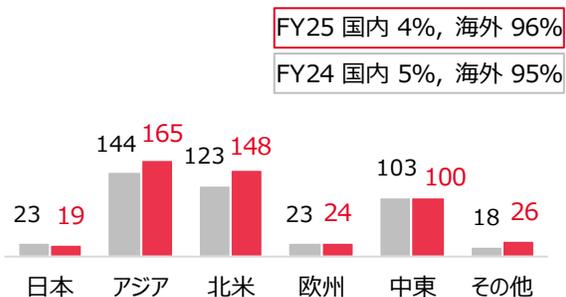
業績推移 (単位: 億円)



製品・S&S別売上収益 (単位: 億円)



地域別売上収益 (単位: 億円)



ポイント (FY24 1Q比)

市場環境

- 北米・アジア・中東地域で案件の動きが継続するも、一部顧客で投資判断を先送りする動き

受注高

- 製品は、大型案件の2Q以降への期ずれにより減少。電力向けは堅調
- S&Sは部品販売や修理が北米で伸長し増加

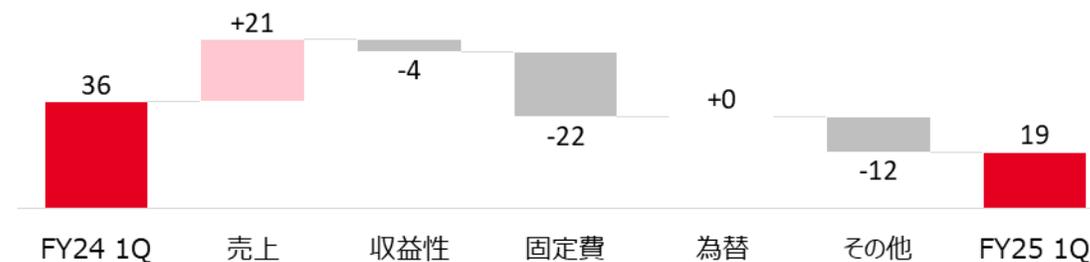
売上収益

- 製品は北米で大幅に増収
- S&Sは北米・アジアで増収

営業利益

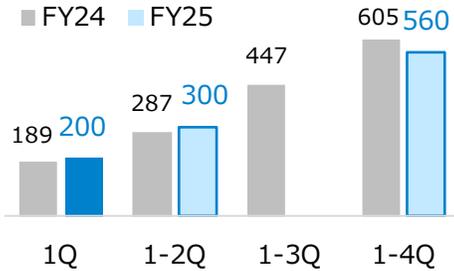
- 増収効果 (+)
- 前期に計上した土地の売却益なし (-)
- 人件費の増加 (-)

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)

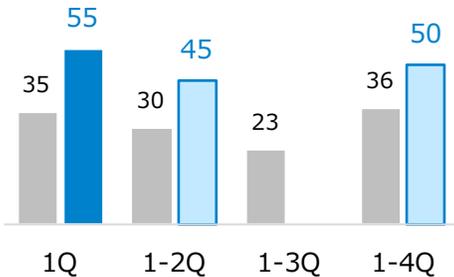


業績推移 (単位: 億円)

受注高



営業利益

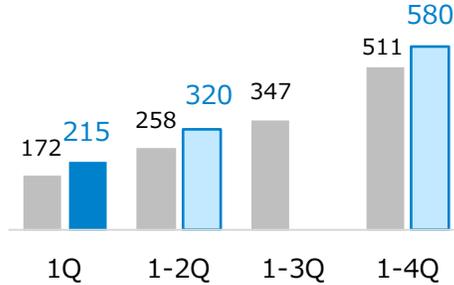


製品・S&S別売上収益 (単位: 億円)

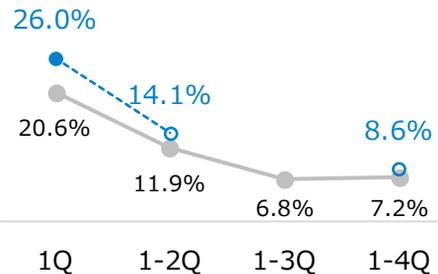
FY25 S&S比率 55%
FY24 S&S比率 58%



売上収益



営業利益率



地域別売上収益 (単位: 億円)

FY25 国内 93%, 海外 7%
FY24 国内 95%, 海外 5%



ポイント (FY24 1Q比)

市場環境

- 国内の公共ポンプ市場は堅調に推移
- 「国土強靱化5か年加速化対策」により事前防災、老朽化対策への投資が堅調に推移

受注高

- 国内公共向けが堅調に推移し増加
- 南米で大型下水案件を受注

売上収益

- 国内公共向けは受注残を順調に消化し増収
- 海外は堅調に推移

営業利益

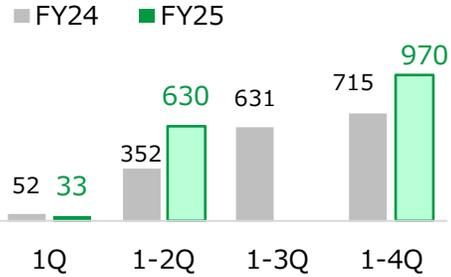
- 増収効果 (+)
- 人件費やシステム導入費用の増加 (-)

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)

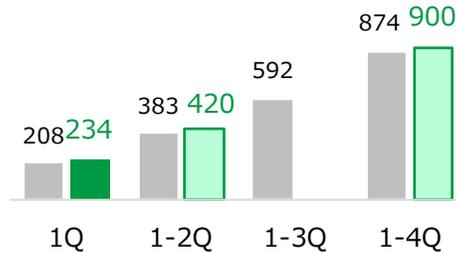


業績推移 (単位: 億円)

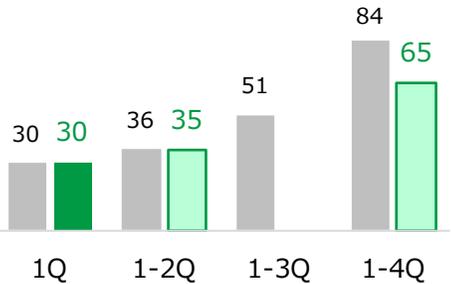
受注高



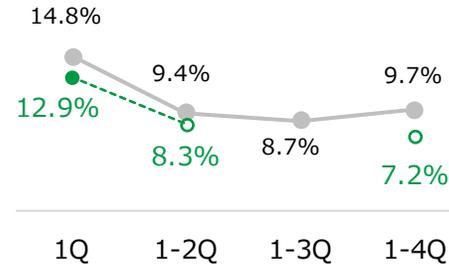
売上収益



営業利益

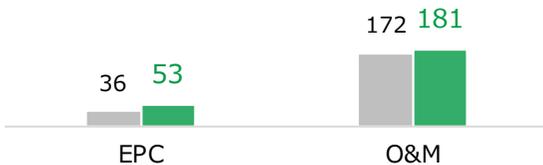


営業利益率



EPC・O&M別売上収益 (単位: 億円)

FY25 O&M比率 77%
FY24 O&M比率 83%



地域別売上収益 (単位: 億円)

FY25 国内 99%, 海外 1%
FY24 国内 100%, 海外 0%



ポイント (FY24 1Q比)

市場環境

- 国内公共向け廃棄物処理施設の新規建設需要は例年どおり安定的に推移

受注高

- 計画どおりに進捗するも大型案件の受注はなし
- オペレーション&メンテナンス(O&M)の大型案件があった前年同期比で減少

売上収益

- EPC*の工事進行案件の進捗により増加

*EPC: プラントの設計・調達・建設

営業利益

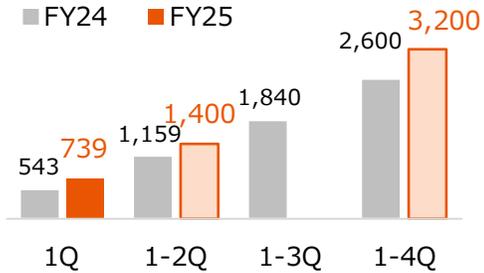
- 増収効果 (+)
- O&M売上比率の低下により収益性が低下 (-)

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)

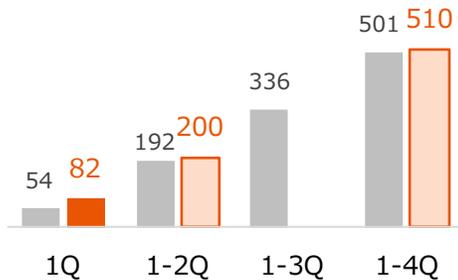


業績推移 (単位: 億円)

受注高

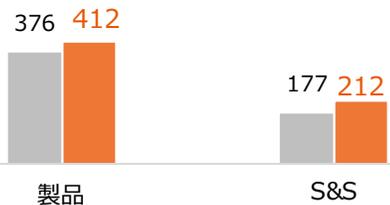


営業利益

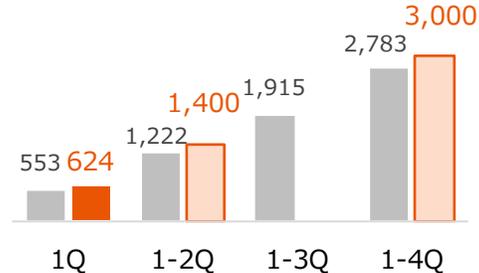


製品・S&S別売上収益 (単位: 億円)

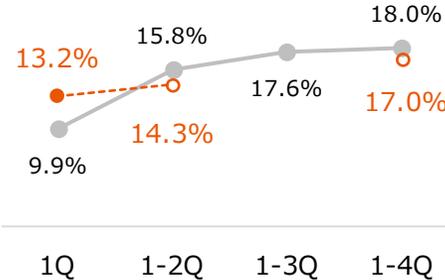
FY25 S&S比率 34%
FY24 S&S比率 32%



売上収益

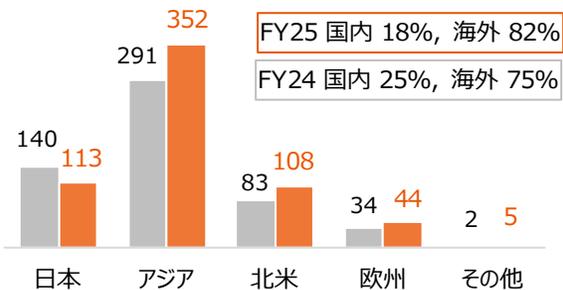


営業利益率



地域別売上収益 (単位: 億円)

FY25 国内 18%, 海外 82%
FY24 国内 25%, 海外 75%



ポイント (FY24 1Q比)

市場環境

- 生成AI向けの需要の増加が継続し、顧客の工場稼働率も回復傾向だが、増産投資の本格的な再開は顧客ごとに濃淡あり
- 中国市場は従来の勢いに落ち着き

受注高

- CMP、コンポーネントの需要回復により、製品、S&S共に増加

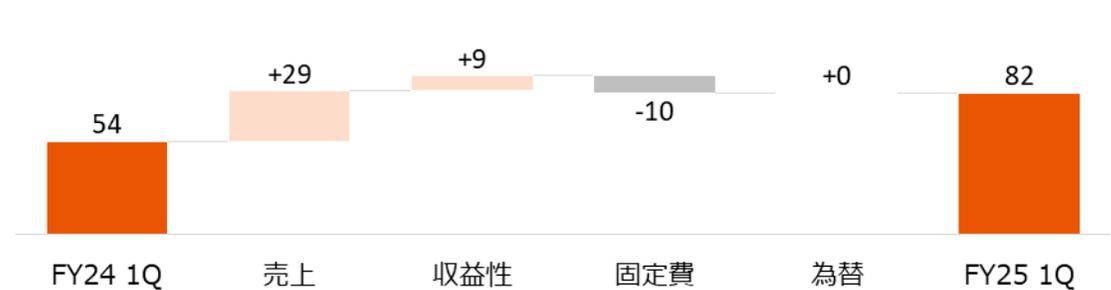
売上収益

- CMPは製品、S&S共に堅調で増収
- コンポーネントはS&Sが堅調で増収

営業利益

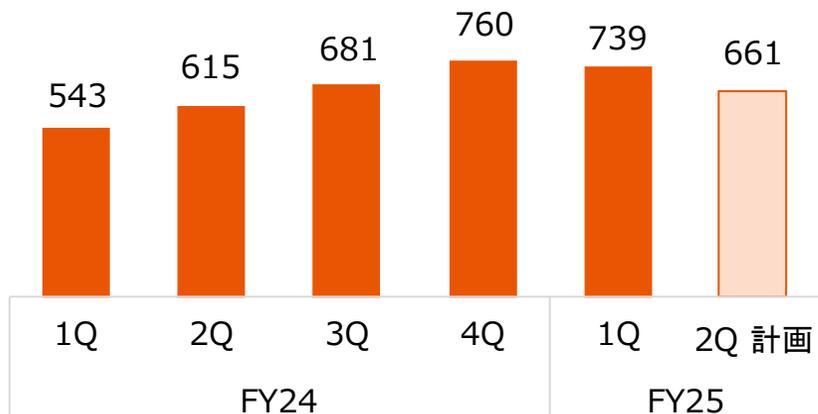
- 増収効果 (+)
- S&S比率上昇により、収益性が上昇 (+)
- 人件費や研究開発費が増加 (-)

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)

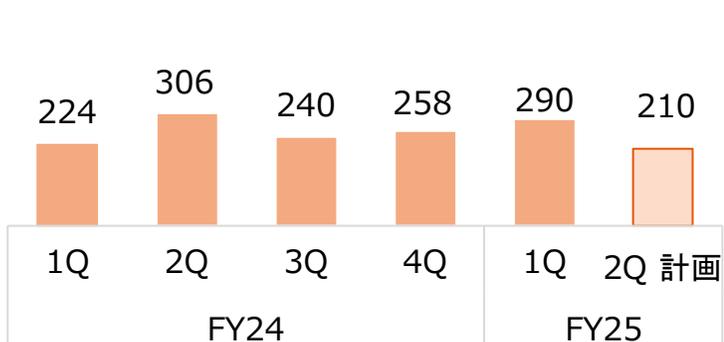


受注高 (単位: 億円)

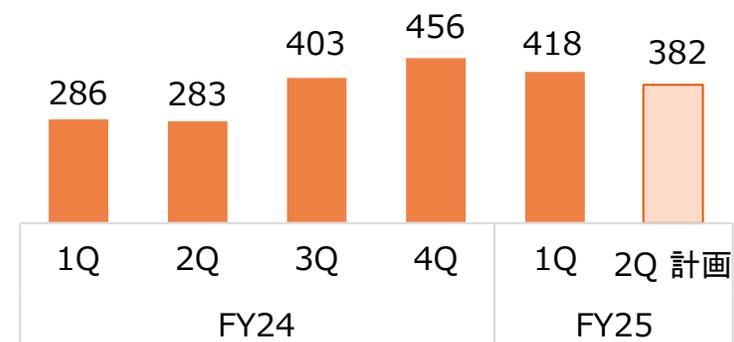
精密・電子



コンポーネント

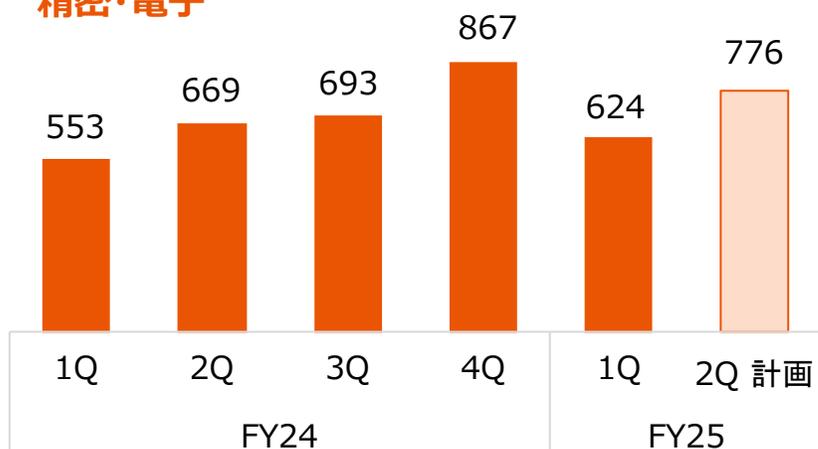


CMP

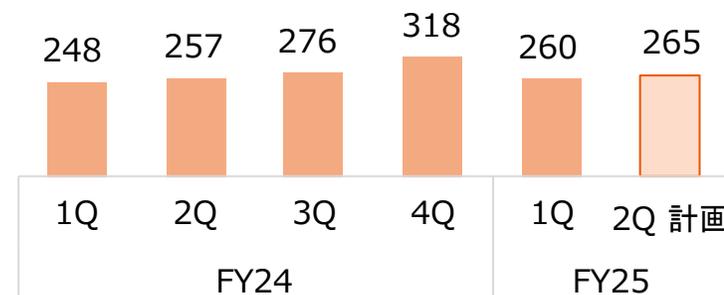


売上収益 (単位: 億円)

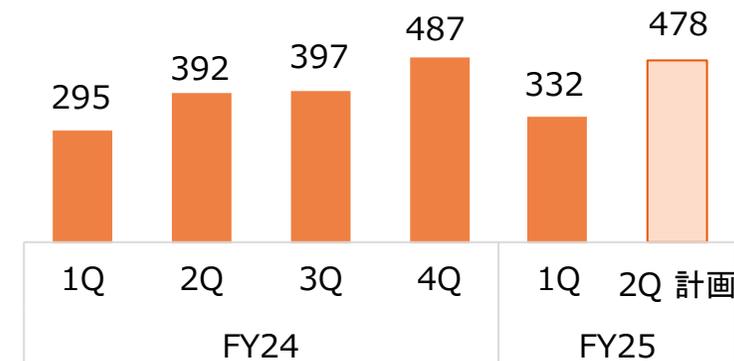
精密・電子



コンポーネント



CMP



1. FY25 1Q 連結決算サマリ
2. FY25 1Q セグメント別業績
- 3. FY25 業績予想**
4. 今後の経営方針について
5. 補足資料

セグメント	主な対面市場	市場別・地域別トレンド	当社の市場見立て FY25（1年間）	
建築・産業	建築設備・ 産業設備	<ul style="list-style-type: none"> 欧州は、建設費、労働コストの上昇により設備投資が低迷 中国は、建築設備、産業市場が停滞も、公共系市場は成長見込み 米国は、関税政策等の影響が見込まれるが、データセンター需要は増加見込み 	 海外	2%台成長見込み
		<ul style="list-style-type: none"> 建築設備市場は、建設コストの高止まりや人手不足により工事の先送り等は継続 産業市場は、設備投資の需要が継続 	 国内	横ばい
エネルギー	石油・ガス 新エネルギー 電力	<ul style="list-style-type: none"> 新規製品分野は、北米・アジア・中東地域を中心に石油化学市場やLNG市場等の需要が堅調 サービス分野は、メンテナンス需要は通常レベルに戻る見込み 脱炭素関連市場は、アンモニア、CCUS等を中心に需要が中期的には拡大見込みだが、足元では案件に遅れがみられる 電力市場は、国内やアジアを中心にアンモニア転換プロジェクトの計画が増加見込み 	 グローバル	LNG：5%台成長見込み エチレン：4%台成長見込み
インフラ	水インフラ 換気	<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化計画などにより安定的に推移 	 国内	横ばい
		<ul style="list-style-type: none"> 人口増による水需要はアジアを中心に堅調 地球温暖化・異常気象により世界各地で洪水被害が年々増加し、河川排水ポンプは一定の需要が継続 	 海外	4%台成長見込み
環境	固形廃棄物処理	<ul style="list-style-type: none"> 公共向け廃棄物処理施設の新規建設需要は、概ね例年どおり推移 老朽化施設の延命化需要が増加 	 国内	横ばい
精密・電子	半導体製造	<ul style="list-style-type: none"> 市場全般としては、生成AI関連を中心に拡大基調。直近では、中国向け需要の継続性に不透明感 	 グローバル	3%台成長見込み

全社業績予想は、上期、通期いずれも据え置き。上期において一部セグメントの業績予想を微修正

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	1-4Q			
	FY24 実績	FY25 計画 25/05/15	増減	増減率
	a	b	b-a	(b-a)/a
受注高	8,605	9,400	+794	+9.2%
売上収益	8,666	9,000	+333	+3.8%
営業利益	979	1,015	+35	+3.6%
営業利益率	11.3%	11.3%	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	714	724	+9	+1.4%
ROIC	12.2%	11.6%	-0.6pts	
ROE	16.2%	15.0%	-1.2pts	
EPS (円) *1	154.62	156.73	+2.11	+1.4%
1株当たり年間配当金 (円) *1	55.0	56.0	+1.0	
為替レート*2				
対米ドル (円)	151.41	145.00		
対ユーロ (円)	163.80	160.00		
対人民元 (円)	21.04	20.00		

FY24 実績	FY25 計画 25/05/15	1-2Q	
		前期比	
		増減 d-c	増減率 (d-c)/c
c	d	d-c	(d-c)/c
3,996	4,570	+573	+14.3%
3,945	4,320	+374	+9.5%
399	420	+20	+5.1%
10.1%	9.7%	-0.4pts	-
292	299	+6	+2.3%
151.97	145.00		
164.30	160.00		
21.07	20.00		

*1 2024年7月1日に1株を5株とする株式分割を実施。記載は株式分割後ベースに調整した数値

*2 為替レート：FY24は四半期毎の期中平均レート実績を単純平均した値で表記。FY25は年間想定為替レートを表記

3. FY25 業績予想

セグメント別



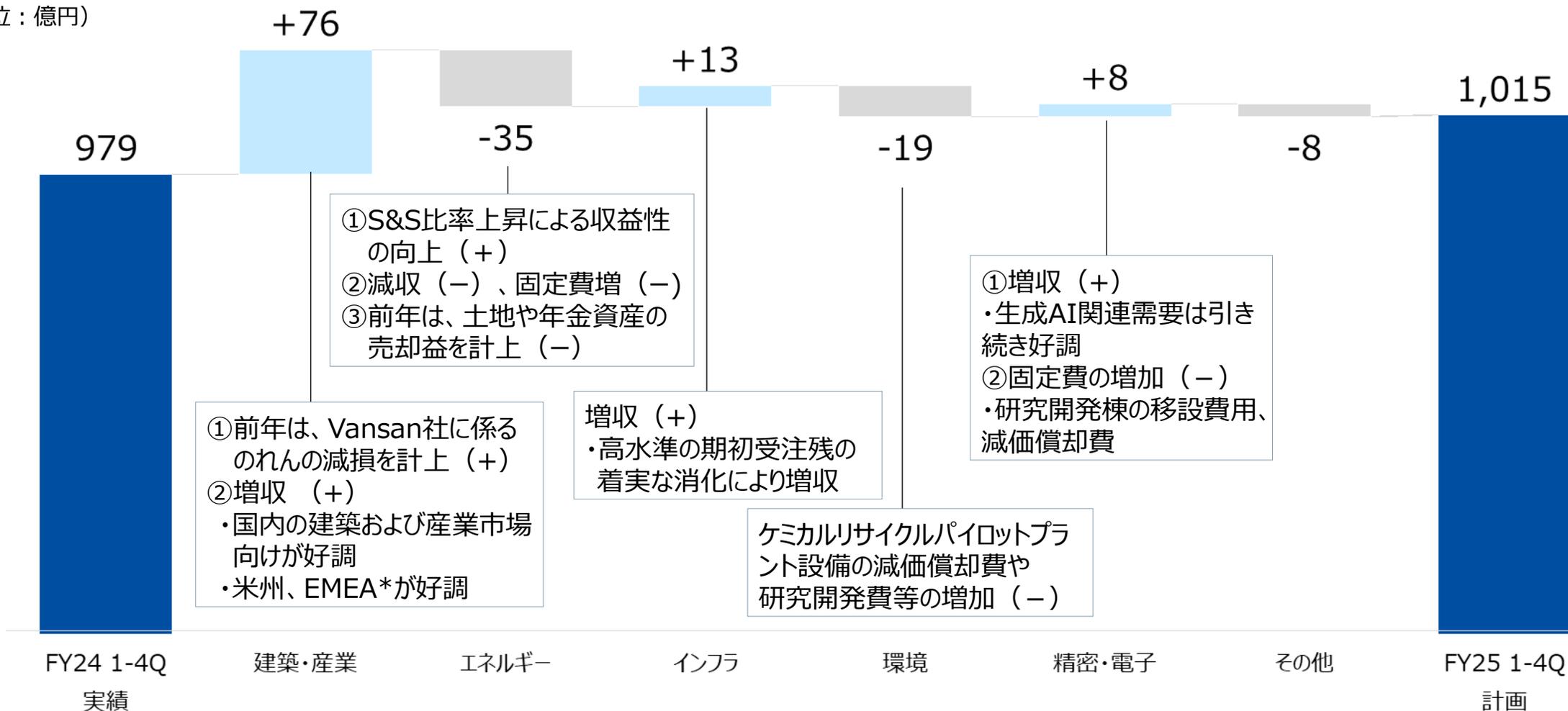
		1-4Q				1-2Q						
		FY24 実績	FY25 計画 25/05/15	増減 b-a	増減率 (b-a)/a	FY24 実績	FY25 旧計画 25/02/14	FY25 計画 25/05/15	前期比		旧計画比	
									増減 e-c	増減率 (e-c)/c	増減 e-d	増減率 (e-d)/d
		a	b	b-a	(b-a)/a	c	d	e	e-c	(e-c)/c	e-d	(e-d)/d
連結合計	受注高	8,605	9,400	+794	+9.2%	3,996	4,570	4,570	+573	+14.3%	-	-
	売上収益	8,666	9,000	+333	+3.8%	3,945	4,320	4,320	+374	+9.5%	-	-
	営業利益	979	1,015	+35	+3.6%	399	420	420	+20	+5.1%	-	-
	営業利益率	11.3%	11.3%	-		10.1%	9.7%	9.7%	-0.4pts		-	-
建築・産業	受注高	2,444	2,550	+105	+4.3%	1,236	1,200	1,230	-6	-0.5%	+30	+2.5%
	売上収益	2,381	2,500	+118	+5.0%	1,147	1,200	1,200	+52	+4.5%	-	-
	営業利益	103	180	+76	+74.1%	78	80	75	-3	-3.9%	-5	-6.3%
	営業利益率	4.3%	7.2%	+2.9pts		6.8%	6.7%	6.3%	-0.5pts		-0.4pts	
エネルギー	受注高	2,227	2,100	-127	-5.7%	955	1,100	1,000	+44	+4.6%	-100	-9.1%
	売上収益	2,104	2,000	-104	-5.0%	926	970	970	+43	+4.7%	-	-
	営業利益	280	245	-35	-12.5%	75	85	85	+9	+13.3%	-	-
	営業利益率	13.3%	12.3%	-1.0pts		8.1%	8.8%	8.8%	+0.7pts		-	-
インフラ	受注高	605	560	-45	-7.5%	287	270	300	+12	+4.4%	+30	+11.1%
	売上収益	511	580	+68	+13.5%	258	335	320	+61	+23.9%	-15	-4.5%
	営業利益	36	50	+13	+35.2%	30	45	45	+14	+46.0%	-	-
	営業利益率	7.2%	8.6%	+1.4pts		11.9%	13.4%	14.1%	+2.2pts		+0.7pts	
環境	受注高	715	970	+254	+35.5%	352	590	630	+277	+78.8%	+40	+6.8%
	売上収益	874	900	+25	+2.9%	383	405	420	+36	+9.4%	+15	+3.7%
	営業利益	84	65	-19	-23.0%	36	30	35	-1	-3.0%	+5	+16.7%
	営業利益率	9.7%	7.2%	-2.5pts		9.4%	7.4%	8.3%	-1.1pts		+0.9pts	
精密・電子	受注高	2,600	3,200	+599	+23.0%	1,159	1,400	1,400	+240	+20.8%	-	-
	売上収益	2,783	3,000	+216	+7.8%	1,222	1,400	1,400	+177	+14.5%	-	-
	営業利益	501	510	+8	+1.7%	192	200	200	+7	+3.7%	-	-
	営業利益率	18.0%	17.0%	-1.0pts		15.8%	14.3%	14.3%	-1.5pts		-	-
その他、調整	受注高	12	20	+7		5	10	10	+4		-	-
	売上収益	11	20	+8		5	10	10	+4		-	-
	営業利益	-26	-35	-8		-13	-20	-20	-6		-	-
	営業利益率	-239.5%	-175.0%	+64.5pts		-227.6%	-200.0%	-200.0%	+27.6pts		-	-

営業利益増減分析



成長投資、基盤投資を戦略的に進めつつ、過去最高水準の営業利益額を見込む

(単位：億円)



米国の関税政策の影響について（2025年4月末時点の情報に基づく）

- 当社では、各グローバル拠点で域産域消が一定程度進んでおり、米国への輸出入の影響は現時点では限定的。今後の追加施策によっては影響が出る可能性もあり、注視が必要
- 関税の影響によるコストアップに対しては、適切な価格設定および製品・サービスの付加価値向上で対応していく

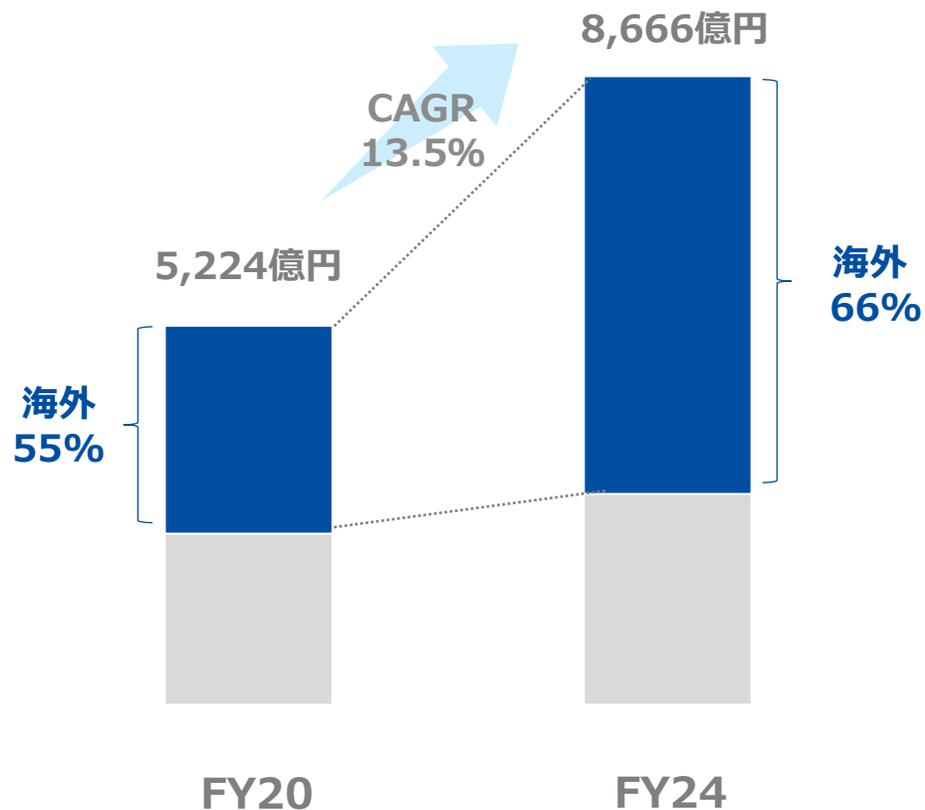
セグメント	関税影響	想定される直接的な影響	
		他国 ⇒ 米国	米国 ⇒ 他国
建築・産業	軽微	米国拠点が中国、欧州から調達する製品・部材の輸入コストの増加	カナダ・南米拠点の在米サプライヤーからの輸入コストの増加
エネルギー	軽微	米国製造拠点がカナダ、メキシコ、日本、中国から調達する部材の輸入コストの増加	米国製造拠点から他国への輸出コストの増加
インフラ	軽微	日本、ベトナムの製造拠点からの輸出コストの増加	—
環境	なし	—	—
精密・電子	軽微	半導体向けは、現時点では追加関税が免除	—

1. FY25 1Q 連結決算サマリ
2. FY25 1Q セグメント別業績
3. FY25 業績予想
- 4. 今後の経営方針について**
5. 補足資料

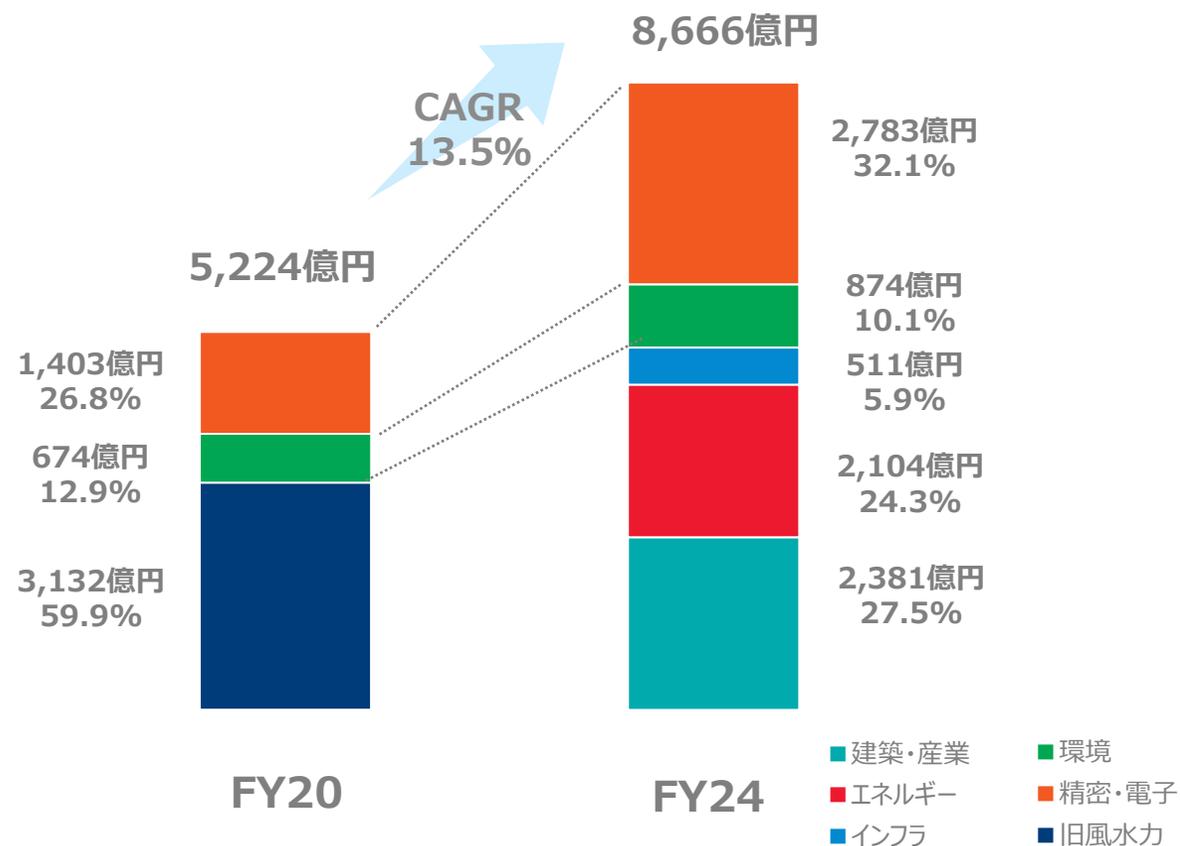
荏原グループの売上収益構成の推移

- 世界41の国・地域に拠点展開。海外売上比率は6割を超え、グローバルでの事業展開の重要性が増している
- 対面市場ごとに強みを発揮し各事業セグメントがそれぞれ順調に拡大

海外売上収益構成比

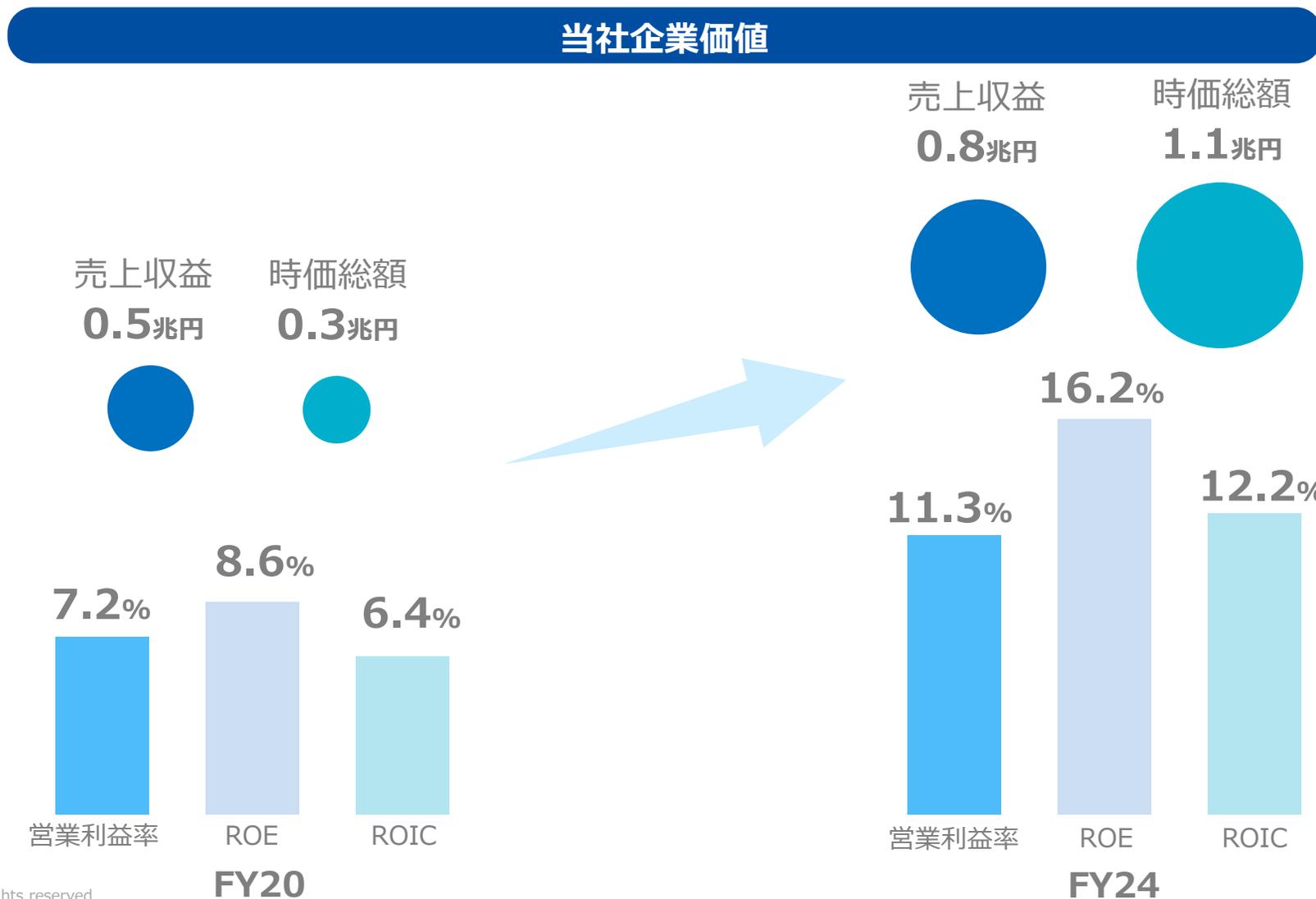


セグメント別売上収益構成比



荏原グループの経営指標の推移

■ 時価総額、売上収益、営業利益率、ROE、ROICなどの経営指標が向上



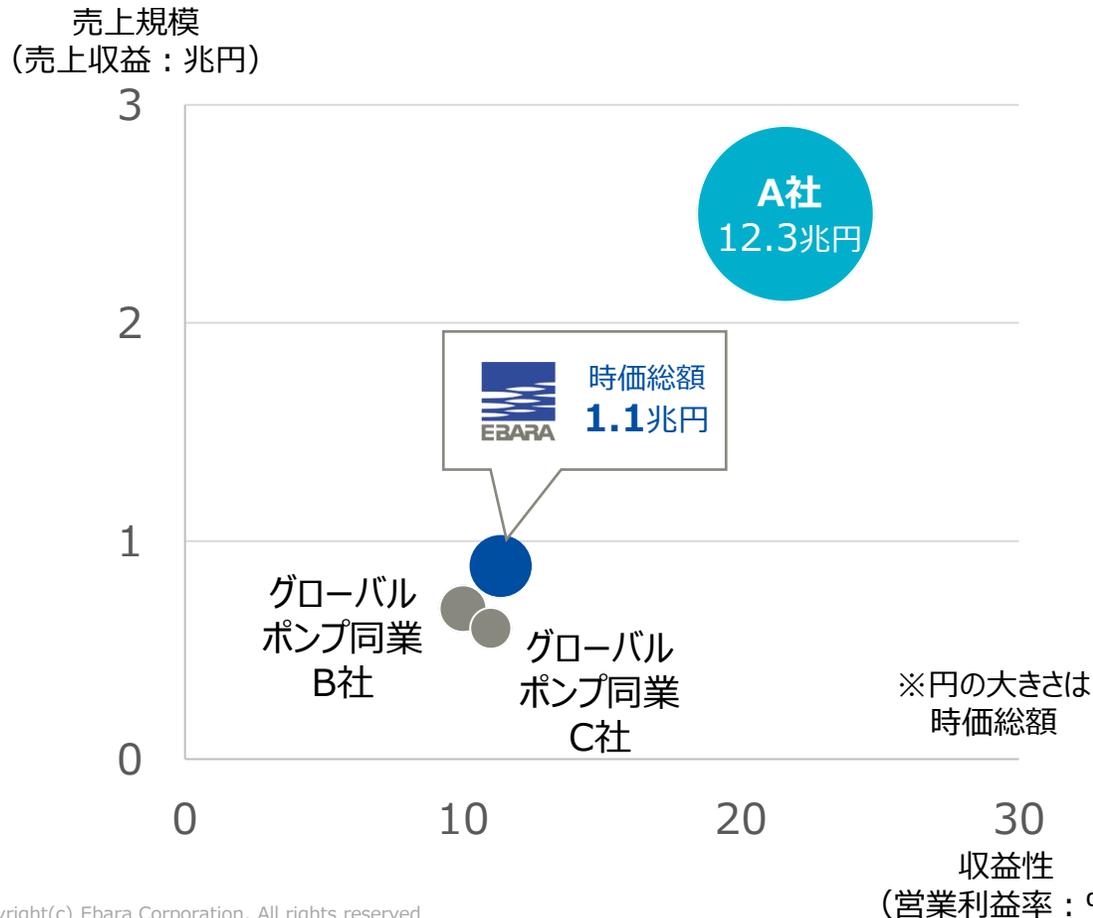
- 対面市場別組織への移行により、顧客起点での価値創造を進めた結果、各事業の稼ぐ力は改善したが、全社視点では以下の課題を認識

課題認識

- 統合された一つの企業グループとしての全体最適の実現
- 急速なグローバルビジネスの展開を支える各種経営システムの充足
 - ・ERPのグループ全体への導入と機能の最大活用
 - ・グローバル人材管理基盤の整備
- 新規事業の収益化

ベンチマークとの比較

- 当社の事業規模、収益性、資本効率は大きく向上したものの、当社のベンチマーク企業の一つであり、類似する市場で事業を展開するグローバル産業機器同業A社からはいずれの指標も大きな差がある
- 複数の事業、製品、サービスを保有する当社の事業ポートフォリオの独自性を活かし、精密・電子、建築・産業、エネルギーを成長ドライバーとして、いずれの指標も更なる向上を図り、グローバル・エクセレント・カンパニーとしてもう一段の進化を目指す



	EBARA	産業機器同業A社
時価総額	1.1兆円	12.3兆円
売上収益	0.8兆円	2.5兆円
営業利益率	11.3%	21.6%
ROE	16.2%	29.0%

- グローバルでビジネスを展開するにあたり、ローカルの個別最適ではなく、「統合された一つの企業グループとしての全体最適」（グローバルでのオペレーショナル・エクセレンス）を志向する

① グローバルなオペレーショナルエクセレンスの追求

- ERPや各種業務システムなどによる統合的な経営管理の実現
- グローバル基準に基づいた制度の導入（人事制度等）
- コーポレート機能の強化

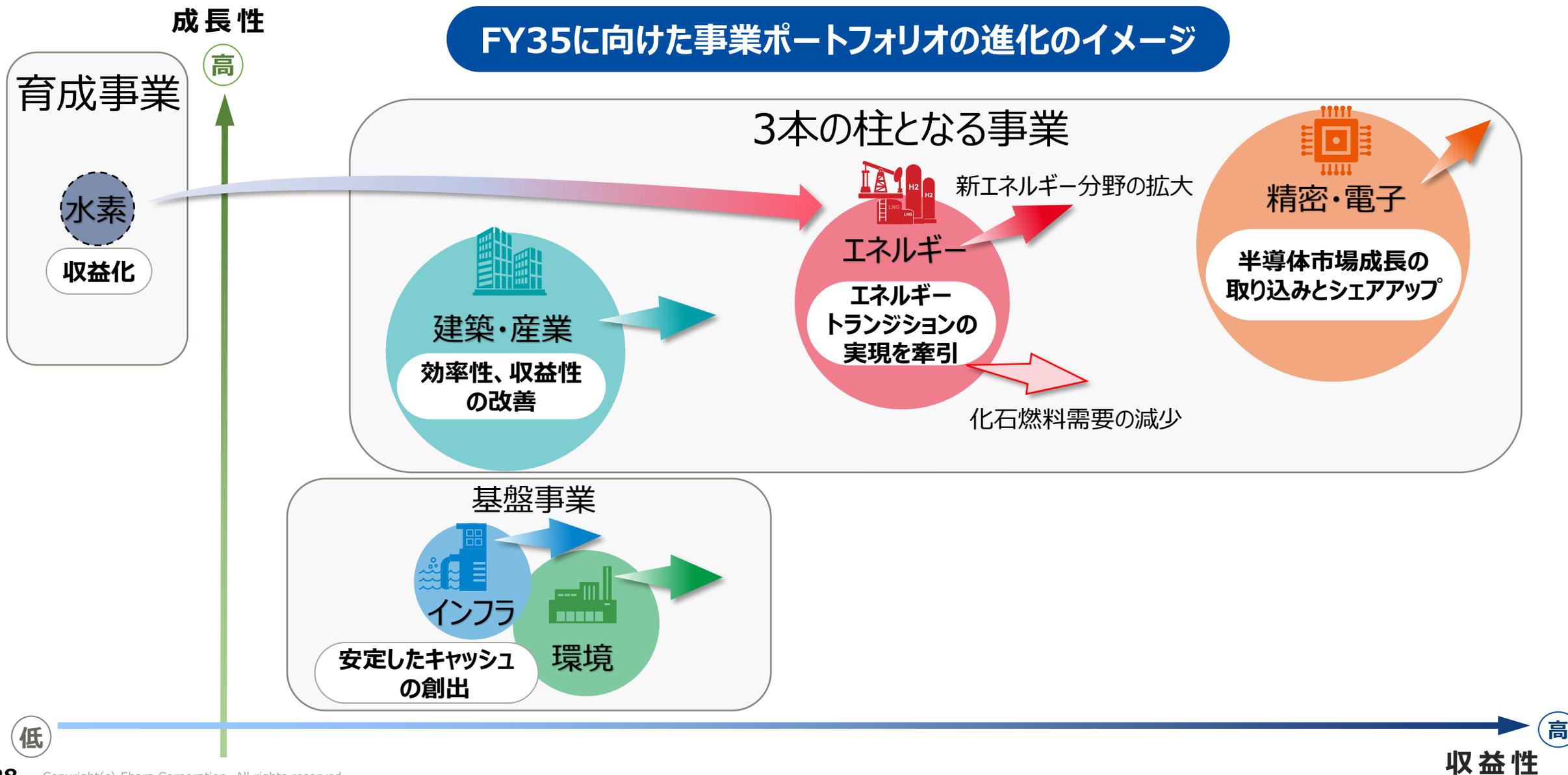
② ありたい姿を実現する事業ポートフォリオマネジメント

- コア技術を中心にしたコングロメリットとしてのシナジー追求
- 精密・電子、建築・産業、エネルギーを一定以上の規模・収益性・効率性を備える「3本の柱」と位置付ける
 - 精密・電子：成長市場の中での積極投資と機会の確実な取り込み
 - 建築・産業：投下資本効率を高めながら、産業分野を中心に高付加価値・高収益ビジネスを創出
 - エネルギー：既存の石油・ガス市場での収益基盤を活かしつつ、LNG・脱炭素分野への戦略投資で、エネルギートランジションを牽引する成長を実現
- インフラ・環境は国内市場を中心に安定的にキャッシュを創出する基盤と位置付ける
- 新規事業開発の組織的な推進
- 手段のひとつとして、M&Aを有効活用する

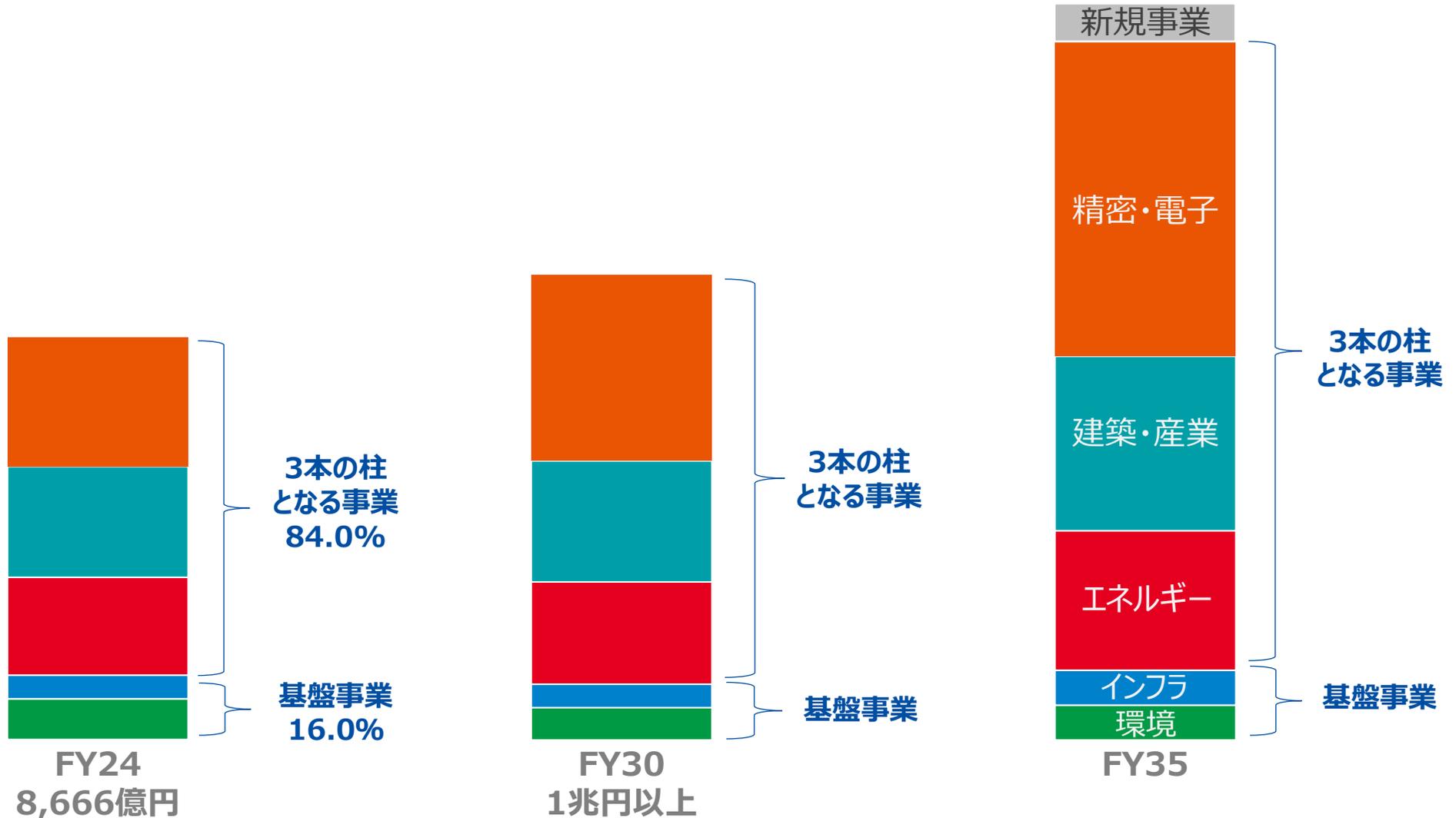
③ グローバル人材管理基盤の整備と人的資本経営の高度化

- グループ内の全人材について、活躍と登用を促進するための基盤システムの構築
- 個人がいきいきと活躍し、その貢献が会社の成長に繋がる好循環の構築

事業ポートフォリオマネジメント



事業ポートフォリオの売上収益構成比イメージ



グローバル人財管理基盤の整備と人的資本経営の高度化

- 自らのありたい姿を描き、成長する意欲を持って主体的に動く個人を会社がサポートすることで、個人がいきいきと活躍し、その貢献が会社の成長に繋がる良い循環を生み出す

＜目指すべき姿＞
個人と会社が互いの成長のため
選び合い応え合う好循環

① グローバル人財管理基盤の整備

- グローバルでの人財育成の推進
- 人財情報を可視化するためのシステム基盤の構築

② 人的資本経営の高度化

- キャリアオーナーシップを発揮できる人財を「増やす」、「活かす」、「適切に評価する」施策を実施

Essential EBARA. Everywhere

1. FY25 1Q 連結決算サマリ
2. FY25 1Q セグメント別業績
3. FY25 業績予想
4. 今後の経営方針について
- 5. 補足資料**

連結業績予想 (FY25 1-2Q、3-4Q)

(単位：億円) 発表日(年/月/日)		FY23		FY24		FY25	
		1-2Q	3-4Q	1-2Q	3-4Q	1-2Q 計画 25/05/15	3-4Q 計画 25/05/15
連結合計	受注高	3,676	4,529	3,996	4,609	4,570	4,830
	売上収益	3,638	3,955	3,945	4,721	4,320	4,680
	営業利益	337	523	399	580	420	595
	営業利益率	9.3%	13.2%	10.1%	12.3%	9.7%	12.7%
建築・産業	受注高	1,110	1,103	1,236	1,208	1,230	1,320
	売上収益	1,065	1,156	1,147	1,234	1,200	1,300
	営業利益	67	90	78	25	75	105
	営業利益率	6.3%	7.8%	6.8%	2.0%	6.3%	8.1%
エネルギー	受注高	1,014	1,213	955	1,272	1,000	1,100
	売上収益	794	878	926	1,178	970	1,030
	営業利益	73	150	75	205	85	160
	営業利益率	9.2%	17.1%	8.1%	17.4%	8.8%	15.5%
インフラ	受注高	252	314	287	318	300	260
	売上収益	292	209	258	253	320	260
	営業利益	44	2	30	6	45	5
	営業利益率	15.0%	1.0%	11.9%	2.4%	14.1%	1.9%
環境	受注高	492	516	352	363	630	340
	売上収益	309	406	383	491	420	480
	営業利益	26	43	36	48	35	30
	営業利益率	8.5%	10.6%	9.4%	9.8%	8.3%	6.3%
精密・電子	受注高	799	1,378	1,159	1,441	1,400	1,800
	売上収益	1,169	1,300	1,222	1,561	1,400	1,600
	営業利益	126	256	192	309	200	310
	営業利益率	10.8%	19.7%	15.8%	19.8%	14.3%	19.4%
その他、調整	受注高	5	6	5	7	10	10
	売上収益	6	5	5	6	10	10
	営業利益	0	-18	-13	-13	-20	-15
	営業利益率	9.1%	-360.2%	-227.6%	-216.7%	-200.0%	-150.0%

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY24				FY25			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q 計画 25/05/15	3-4Q 計画 25/05/15	1-4Q 計画 25/05/15
連結合計	1,916	3,996	6,436	8,605	1,998	4,570	4,830	9,400
建築・産業	581	1,236	1,845	2,444	597	1,230	1,320	2,550
エネルギー	545	955	1,662	2,227	423	1,000	1,100	2,100
インフラ	189	287	447	605	200	300	260	560
環境	52	352	631	715	33	630	340	970
精密・電子	543	1,159	1,840	2,600	739	1,400	1,800	3,200
コンポーネント	224	531	771	1,029	290	500	610	1,110
CMP	286	569	973	1,430	418	800	1,070	1,870
その他	33	58	95	140	31	100	120	220
その他	2	5	8	12	2	10	10	20

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY24				FY25			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q 計画 25/05/15	3-4Q 計画 25/05/15	1-4Q 計画 25/05/15
連結合計	1,938	3,945	6,043	8,666	2,126	4,320	4,680	9,000
建築・産業	565	1,147	1,727	2,381	563	1,200	1,300	2,500
エネルギー	435	926	1,451	2,104	486	970	1,030	2,000
インフラ	172	258	347	511	215	320	260	580
環境	208	383	592	874	234	420	480	900
精密・電子	553	1,222	1,915	2,783	624	1,400	1,600	3,000
コンポーネント	248	506	782	1,100	260	525	585	1,110
CMP	295	688	1,085	1,573	332	810	875	1,685
その他	8	28	48	109	31	65	140	205
その他	2	5	8	11	3	10	10	20

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY24				FY25			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q 計画 25/05/15	3-4Q 計画 25/05/15	1-4Q 計画 25/05/15
連結合計	192	399	598	979	226	420	595	1,015
建築・産業	43	78	55	103	43	75	105	180
エネルギー	36	75	153	280	19	85	160	245
インフラ	35	30	23	36	55	45	5	50
環境	30	36	51	84	30	35	30	65
精密・電子	54	192	336	501	82	200	310	510
その他、調整	-8	-13	-22	-26	-6	-20	-15	-35

受注残高

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY24				FY25		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q計画 25/05/15	4Q計画 25/05/15
連結合計	9,091	9,380	9,387	9,171	8,868	9,421	9,571
建築・産業	650	732	724	687	699	717	737
エネルギー	2,329	2,353	2,323	2,390	2,220	2,420	2,490
インフラ	696	708	774	769	750	749	749
環境	3,321	3,572	3,638	3,444	3,241	3,654	3,514
精密・電子	2,094	2,013	1,926	1,879	1,955	1,879	2,079
その他	0	0	0	1	1	1	1

地域別売上収益

(単位：億円)	FY24				FY25
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q
建築・産業	565	1,147	1,727	2,381	563
日本	261	487	710	1,004	270
アジア（日本除く）	128	297	466	638	116
北米	40	88	142	185	45
欧州	60	127	186	244	59
中東	23	38	52	73	20
その他	52	108	168	234	50
エネルギー	435	926	1,451	2,104	486
日本	23	48	87	114	19
アジア（日本除く）	144	326	540	763	165
北米	123	296	448	665	148
欧州	23	46	85	101	24
中東	103	165	220	361	100
その他	18	44	69	98	26
インフラ	172	258	347	511	215
日本	162	233	296	421	200
アジア（日本除く）	7	20	35	67	9
北米	0	0	6	10	1
中東	1	2	8	11	3
その他	-	-	0	0	-
環境	208	383	592	874	234
日本	208	380	580	837	233
アジア（日本除く）	0	2	12	36	1
精密・電子	553	1,222	1,915	2,783	624
日本	140	295	392	517	113
アジア（日本除く）	291	669	1,105	1,687	352
北米	83	183	281	374	108
欧州	34	69	128	194	44
その他	2	4	6	9	5

サービス&サポート(S&S)売上収益

(単位：億円)

		FY24				FY25
		1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q
建築・産業	S&S売上収益	130	243	353	502	135
	S&S比率	23%	21%	20%	21%	24%
エネルギー	S&S売上収益	221	442	697	1,009	243
	S&S比率	51%	48%	48%	48%	50%
インフラ	S&S売上収益	100	143	177	247	118
	S&S比率	58%	55%	51%	48%	55%
環境	O&M売上収益	172	305	448	638	181
	O&M比率	83%	80%	76%	73%	77%
精密・電子	S&S売上収益	177	391	607	848	212
	S&S比率	32%	32%	32%	31%	34%

貸借対照表

(単位：億円)	FY24 1Q a	FY24 4Q b	FY25 1Q c	増減 c-a	増減 c-b
資産合計	9,534	10,050	10,012	+478	-38
流動資産	6,755	7,053	6,955	+200	-97
現金及び現金同等物	1,652	1,710	1,672	+20	-37
営業債権	2,715	2,879	2,878	+162	-1
棚卸資産	2,082	2,059	2,130	+47	+70
その他流動資産	304	403	274	-30	-129
非流動資産	2,779	2,997	3,056	+277	+58
負債合計	5,193	5,197	5,251	+57	+53
営業債務	1,390	1,449	1,202	-187	-247
有利子負債	1,647	1,504	1,835	+188	+331
その他負債	2,156	2,243	2,212	+56	-30
資本合計	4,340	4,853	4,761	+420	-91
親会社所有者帰属持分	4,239	4,732	4,658	+419	-73
その他資本	101	120	102	+1	-17
親会社所有者帰属持分比率	44.5%	47.1%	46.5%	+2.0pts	-0.6pts
D/Eレシオ	0.39	0.32	0.39	-	+0.07

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	1Q			1-4Q		
	FY24	FY25	増減	FY24	FY25 計画 25/05/15	増減
	a	b	b-a	c	d	d-c
営業活動CF	196	-15	-211	1,009	800	-209
投資活動CF	-67	-170	-102	-485	-1,000	-514
フリーCF	128	-185	-314	523	-200	-723
財務活動CF	13	170	+156	-319	-100	+219

E : 環境

GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れたTCFD開示」に選定

2025/2 News release

CDP「気候変動」と「水セキュリティ」の2分野で「A-」の評価を初獲得

2025/2 News release

2030年温室効果ガス排出削減目標がSBT認定を取得

2025/5 News release



S : 社会

荏原環境プラント 埼玉県の使用済みリチウムイオン電池回収に関する実証試験に協力

2025/1 News release

「スポーツエールカンパニー2025」および「令和6年度 東京都スポーツ推進企業」に認定

2025/2 News release

「JAPAN HR DX AWARDS」で特別賞を受賞

2025/2 News release

健康経営優良法人2025（大規模法人部門（ホワイト500））に認定

2025/3 News release



外部評価

当社のIRサイトが「Gomez IRサイトランキング2024」で銀賞を受賞

2025/1 News release

経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を更新

2025/4 News release



免責事項

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。